

令和5年3月9日10時00分
近畿地方整備局
福井河川国道事務所

アクセス向上により観光客数が134万人増 ～ 一般国道158号 永平寺大野道路えいへいじおおのどうろの整備効果 ～

平成29年7月8日全線開通(暫定2車線)した永平寺大野道路えいへいじおおのどうろが開通から5年が経過しました。
この度、開通後の整備効果をとりとめましたので、お知らせします。

■開通による整備効果

○開通後の交通状況変化

- ・並行する国道416号から永平寺大野道路へ交通が転換⇒交通量が最大9割減少
- ・勝山市内から福井市内までの所要時間が最大57分⇒40分に短縮

○沿線地域の観光振興への貢献

- ・周辺観光施設へのアクセス向上により観光客数が約134万人(8割)増加
【開通前】約159万人(H18) ⇒ 【開通後】約294万人(R1)
- ・永平寺大野道路の全線開通が契機となり、沿線地域に新たに2つの道の駅がオープン

○災害時の広域迂回路としての機能の発揮

- ・令和4年8月豪雨時に北陸道・国道8号などが通行止め
- ・永平寺大野道路へ交通が転換し、北陸と関西・中京圏を結ぶ広域迂回路としての機能を発揮

<取扱い> _____

<配布場所> 近畿建設記者クラブ
福井県政記者クラブ

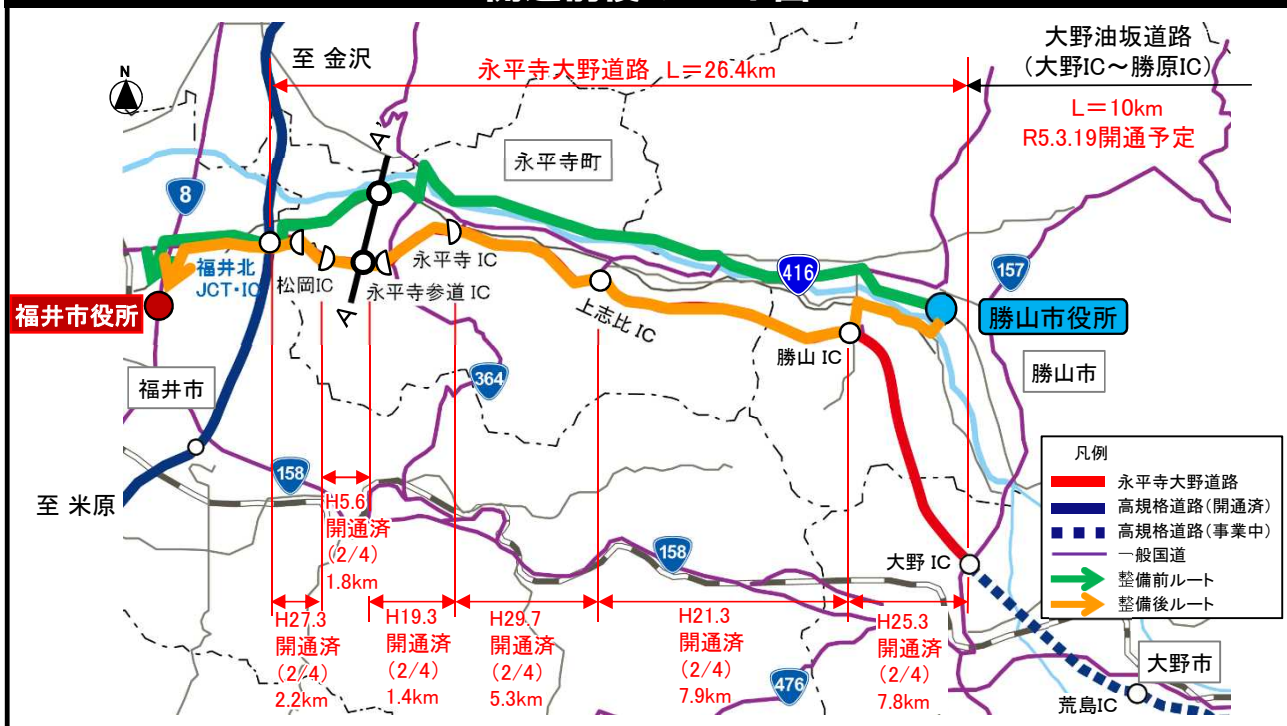
大手前記者クラブ

<問合せ先> 国土交通省 近畿地方整備局 福井河川国道事務所
事業対策官 斎藤 哲也(さいとう てつや)
計画課長 中村 幸一郎(なかむら こういちろう)
電話:0776-35-2661(代表)

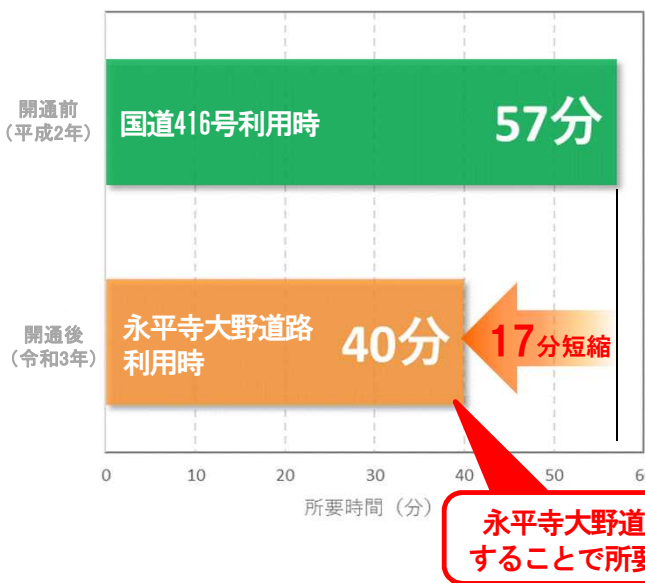
交通状況の変化

- 並行する国道416号から永平寺大野道路へ交通が転換
⇒ 交通量が**最大9割減少**
- 全線開通により、勝山市内から福井市内への**所要時間が最大57分**
⇒ **40分に短縮。**

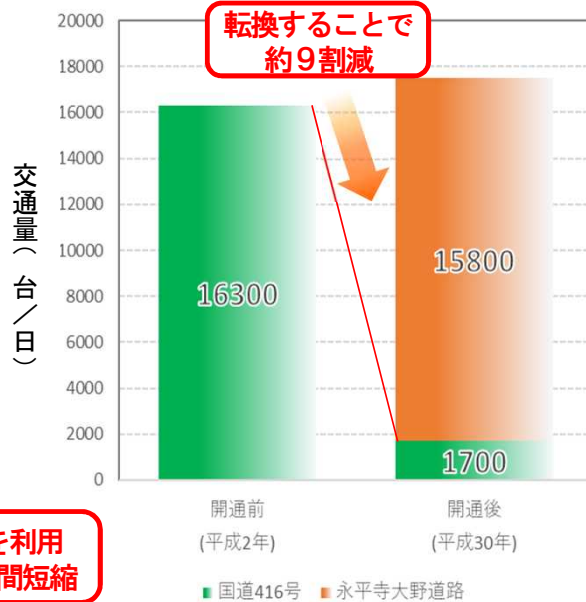
開通前後のルート図



勝山市役所～福井市役所の所要時間



交通量の変化



＜所要時間の算出条件＞

- ・開通前: H2道路交通センサス(混雑時平均旅行速度)
- ・開通後: ETC2.0プローブ情報 2021年9～11月平日8時台

出典)
H2全国道路・街路交通情勢調査
H30: 国道416号 平成30年7月4日(水)調査結果、
永平寺大野道路 H30.10トラカン交通量(松岡IC～永平寺参道IC)

沿線地域の観光振興への貢献

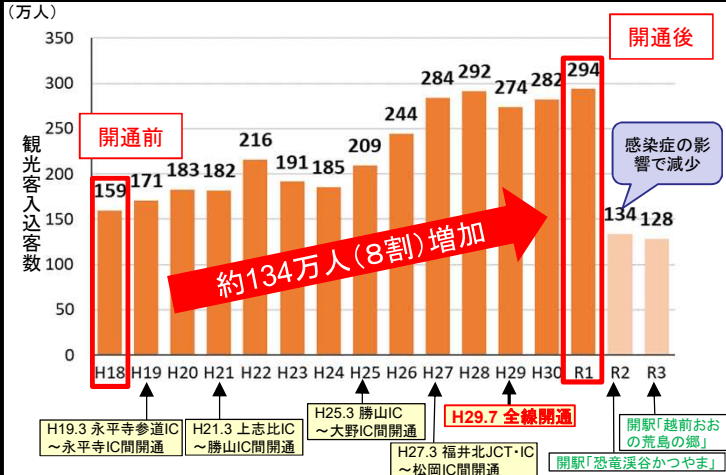
- 周辺観光地における観光客数は、開通前後で**約134万人(8割)増加**。
- 永平寺大野道路の**全線開通が契機**となり、沿線地域に**新たに2つの道の駅がオープン**。

永平寺大野道路沿線の観光地



周辺観光地の入込客数推移(H18~R3)

(恐竜博物館・大野まちなか観光・大本山永平寺・スキージャム勝山)



観光施設の声



観光施設担当者

永平寺大野道路の全線開通により、福井方面・関西方面から一般道へ降りずに高速道路だけで最寄りICまで行くことが可能になり、所要時間が短縮した。利用客へのサービス向上につながっている。



観光施設担当者

永平寺大野道路の全線開通後、関西方面からの利用客から「高速道路で一直線に来られるようになりストレスが解消した」という声を多数聞いている。また、岐阜方面の早期整備を望む声も高まっている。



大野市担当者

県内最大級の道の駅「越前おおの荒島の郷」は、中部縦貫自動車道開通を見据え、地域の魅力を発信する拠点として開駅しました。県内全線開通後は約80万人の来場者を見込んでおり、一日も早い開通に期待しています。

災害時の広域迂回路としての機能の発揮

- 令和4年8月福井県での豪雨災害時に、北陸道・国道8号など日本海側ルートが全て被災・通行止となり、北陸と関西・中京間の人流・物流に大きな影響。
- **北陸道・国道8号**などから交通が転換し、永平寺大野道路が北陸と関西・中京間を結ぶ**広域迂回路として機能を発揮**。
- 永平寺大野道路において、交通量が被災前の約1.6倍に増加、特に大型車の交通量は約3倍に増加。

令和4年8月豪雨災害被災状況

令和4年8月4日～5日の豪雨により、土砂流出などが発生し、国道8号、北陸自動車道等が通行止めとなる。

国道8号 (南越前町桜橋交差点 ～敦賀市大比田交差点)	8/5 全面通行止め開始 8/9 全面通行止め解除 (一部、片側交互通行) 8/20 片側交互通行規制解除
-----------------------------------	--

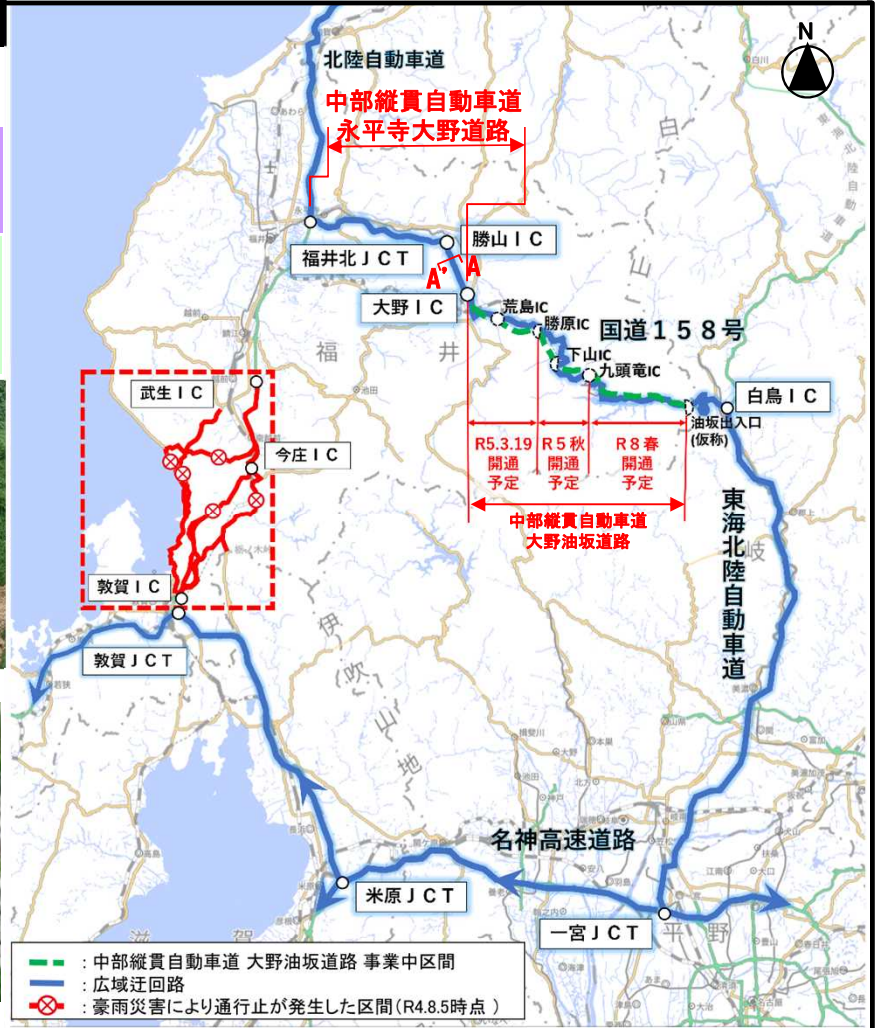
北陸自動車道 (武生IC～敦賀IC)	8/5 通行止め開始 8/10 通行止め解除 (上り: 敦賀IC～武生IC) 8/27 通行止め解除 (下り: 敦賀IC～今庄IC)
-----------------------	--



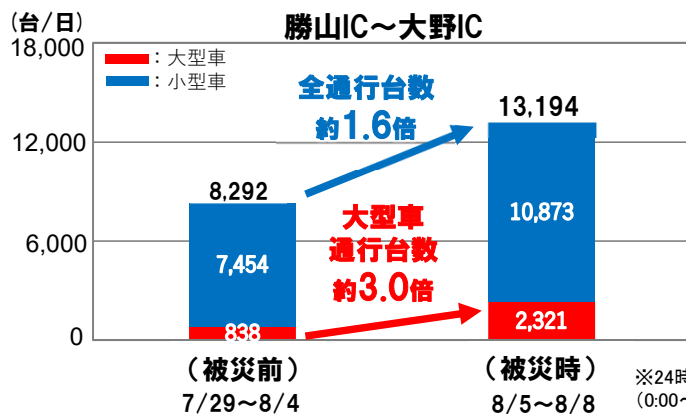
北陸自動車道被災状況



国道8号被災状況



被災前後での永平寺大野道路の交通量変化



一般国道158号 永平寺大野道路の概要

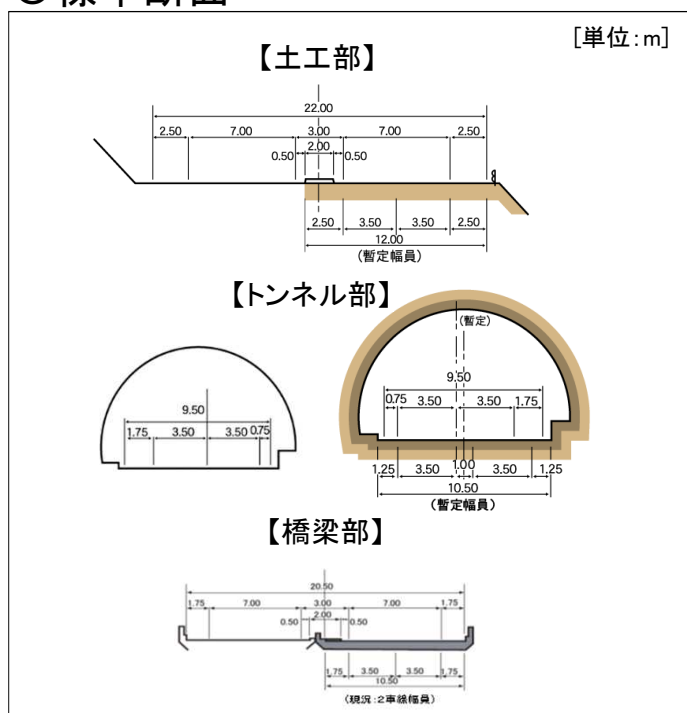
中部縦貫自動車道は、長野県松本市を起点に飛騨、奥越地方を通過し、福井県に至る約160kmの高規格道路(自動車専用道路)であり、中央自動車道長野線、東海北陸自動車道、北陸自動車道を相互に連絡して広域交通の円滑化を図ることを目的としています。

永平寺大野道路は、中部縦貫自動車道の一部を構成し、大野市中津川から福井市玄正島町に至る26.4kmの自動車専用道路であり、高速交通ネットワークを形成するとともに、安定した交通の確保、文化・地域資源を活かした地域経済の活性化、医療活動の支援を目的としています。

○事業経緯

区間	(起) 福井県大野市中津川 (終) 福井県福井市玄正島町
道路延長	26.4km
構造規格	第1種第3級
設計速度	80 km/h
車線数	4車線
標準幅員	22.0m
全体事業費	1,306億円
事業化	平成2年度
都市計画決定	平成4年度
用地着手	平成5年度
工事着手	平成10年度
開通	平成29年7月8日 (暫定2車線供用)

○標準断面



位置図

